

## 高等学校 芸術（美術）

### 解答についての注意点

- 1 解答用紙は、マーク式解答用紙と記述式解答用紙の2種類があります。
- 2 大問 **1**～大問 **2** については、マーク式解答用紙に、大問 **3**、**4** については、記述式解答用紙に記入してください。
- 3 解答用紙が配付されたら、まずマーク式解答用紙に受験番号等を記入し、受験番号に対応する数字を、鉛筆で黒くぬりつぶしてください。  
記述式解答用紙は、全ての用紙の上部に受験番号のみを記入してください。
- 4 大問 **1**～大問 **2** の解答は、選択肢のうちから、**問題で指示された解答番号**の欄にある数字のうち一つを黒くぬりつぶしてください。  
例えば、「解答番号は  」と表示のある問題に対して、「**3**」と解答する場合は、解答番号  の欄に並んでいる ① ② ③ ④ ⑤ の中の ③ を黒くぬりつぶしてください。
- 5 間違ってぬりつぶしたときは、消しゴムできれいに消してください。二つ以上ぬりつぶされている場合は、その解答は無効となります。
- 6 その他、係員が注意したことをよく守ってください。

指示があるまで中をあけてはいけません。



1 高等学校学習指導要領（平成21年3月告示）に関する内容について、次の（1）～（7）の問いに答えよ。

（1）「第2章 第7節 芸術 第2款 各科目 第6 美術Ⅲ 1 目標」について、空欄の内容として適切なものはどれか。1～4から一つ選べ。解答番号は

1 目標

美術の創造的な諸活動を通して、美術の能力を高める。

- 1 美的体験を豊かにし、生涯にわたり美術を愛好する心情と美術文化を尊重する態度を育てるとともに、感性と美意識を磨き、個性豊かな
- 2 美的体験を豊かにし、生涯にわたり美術を愛好する心情を育てるとともに、感性と美意識を磨き、個性豊かな表現と鑑賞の能力を伸ばし、独創的な
- 3 創造活動の喜びを味わい、生涯にわたり美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、個性豊かな表現と鑑賞の能力を伸ばし、個性豊かな
- 4 創造活動の喜びを味わい、生涯にわたり美術を愛好する心情と美術文化を尊重する態度を育てるとともに、感性を高め、創造的な

（2）「第2章 第7節 芸術 第2款 各科目 第5 美術Ⅱ 2 内容 A 表現（2）」の内容として適切なものはどれか。1～4から一つ選べ。解答番号は

- 1 自然、自己、社会などを深く見つめ、生活を美しく豊かにするデザインの働きを考えて主題を生成すること。
- 2 デザイン効果を考えて独創的な主題を生成し、表現の構想を練ること。
- 3 自然、自己、社会などを深く見つめ、映像メディアの特性を生かして主題を生成すること。
- 4 自然、自己、社会などを深く見つめて主題を生成すること。

(3)「第2章 第7節 芸術 第2款 各科目 第6 美術Ⅲ 2 内容 A 表現 (1)」について、空欄①～④にあとの選択肢A～Kのいずれかの語句を入れて文章を完成させる場合、正しい組合せはどれか。1～4から一つ選べ。解答番号は

(1) 絵画・

ア  な主題を生成し、表現の構想を練ること。

イ 主題に合った  を工夫し、  創造的な表現を追求すること。

- A 独創性を生かした      B 個性を生かして      C 彫塑      D 彫刻      E 立体  
 F 表現形式      G 創造的      H 個性的      I 独創的      J 表現方法  
 K 形体、色彩、構成などを工夫して

- |   |   |   |   |   |
|---|---|---|---|---|
|   | ① | ② | ③ | ④ |
| 1 | D | G | J | K |
| 2 | E | G | F | A |
| 3 | C | H | F | K |
| 4 | D | I | J | B |

(4)「第2章 第7節 芸術 第2款 各科目 第6 美術Ⅲ 2 内容 B 鑑賞 ア」について、空欄AとBに入る語句として正しい組合せはどれか。1～4から一つ選べ。解答番号は

B 鑑賞

鑑賞に関して、次の事項を指導する。

ア  などを考察し、  作品を読み取り味わうこと。

- |                        |                 |
|------------------------|-----------------|
| A                      | B               |
| 1 作者の生き方や主張と作品         | 自己の表現活動との関連を深め、 |
| 2 作者の主張、作品と時代や社会とのかかわり | 自己の価値観や美意識を働かせて |
| 3 美術と社会及び人間の生き方との関連    | 多様な視点から分析して理解し、 |
| 4 文化遺産としての美術の特色        | 美しさに対する願いを感じ取り、 |

(5)「第2章 第7節 芸術 第2款 各科目 第4 美術I 3 内容の取扱い(1)(3)(5)(7)」について、空欄①～④に入る語句として正しい組合せはどれか。1～4から一つ選べ。

解答番号は

3 内容の取扱い

(1) 内容のA及びBの指導に当たっては、( ① ) との関連を十分に考慮し、A及びB相互の関連を図るとともに、Bの指導については、適切かつ十分な授業時数を配当するものとする。

(3) 内容のAの指導に当たっては、スケッチやデッサンなどにより観察力、( ② )、描写力などが十分高まるよう配慮するものとする。

(5) 内容のBについては、( ③ ) も重視して扱うとともに、アジアの美術などについても扱うようにする。

(7) 事故防止のため、特に、刃物類、塗料、( ④ ) などの使い方の指導と保管、活動場所における安全指導などを徹底するものとする。

|   | ①       | ②   | ③     | ④  |
|---|---------|-----|-------|----|
| 1 | 生涯学習    | 判断力 | 西洋の美術 | 道具 |
| 2 | 共通事項    | 表現力 | 日本の美術 | 薬品 |
| 3 | 生徒の学習経験 | 判断力 | 西洋の美術 | 工具 |
| 4 | 中学校美術科  | 思考力 | 日本の美術 | 器具 |

(6)「第3章 第12節 美術 第2款 各科目」について、科目として記載されていないものはどれか。1～4から一つ選べ。解答番号は

- 1 プロダクトデザイン
- 2 クラフトデザイン
- 3 環境造形
- 4 映像表現

(7)「第3章 第12節 美術 第3款 各科目にわたる指導計画の作成と内容の取扱い 1 (1)」の内容について、原則としてすべての生徒に履修させる科目にないものはどれか。1～4から一つ選べ。解答番号は

- 1 美術史
- 2 素描
- 3 美術概論
- 4 構成

2 (1)、(2)の問いに答えよ。

(1) 次の美術に関する問い①～⑤について、最も適切なものを1～4から一つずつ選べ。

① 版画の技法で、平らな版の上で水と油の反発作用を利用して刷る技法はどれか。

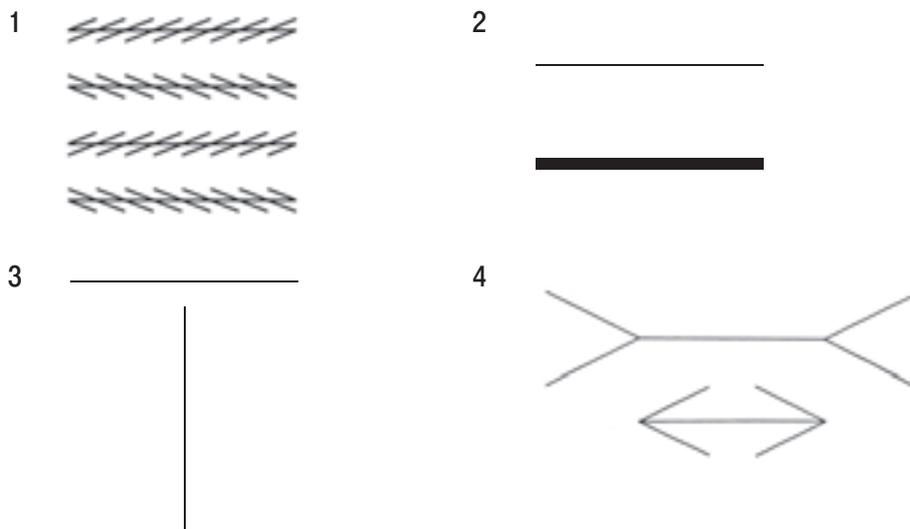
解答番号は

- |         |            |
|---------|------------|
| 1 エッチング | 2 ドライポイント  |
| 3 リトグラフ | 4 シルクスクリーン |

② 版画の技法で、ビュランと呼ばれる道具を使用し、直接版面に線（イメージ）を刻み込む技法はどれか。解答番号は

- |            |          |
|------------|----------|
| 1 エンレーヴィング | 2 アクアチント |
| 3 メゾチント    | 4 コラグラフ  |

③ 「ミュラー・リヤーの錯視」と呼ばれる、実際は等しい長さだが、付加図形の影響で異なる長さに見える図はどれか。解答番号は



④ 絵文字や絵言葉であり、表現対象である事物や情報から視覚イメージを抽出、抽象化し、文字以外の単純な図記号によって表したものはどれか。解答番号は

- |         |              |
|---------|--------------|
| 1 マッピング | 2 ピクトグラム     |
| 3 モジュール | 4 ユニバーサルデザイン |

⑤ 映像の技法で、色の違いを利用して抜き取りたい被写体を背景から分離し、別の画面にはめ込む技法はどれか。解答番号は

- |           |           |
|-----------|-----------|
| 1 クロマキー   | 2 タイムラプス  |
| 3 トランジション | 4 アニメーション |

(2) 次の図1～3に関する問い①～⑦について、最も適切なものを1～4から一つずつ選べ。

|   |  |  |
|---|--|--|
| <p>著作権保護の観点により、<br/>本作品を掲載いたしません。</p> <p>「突風」北斎にならって」<br/>ジェフ・ウォール作<br/>テイトギャラリー蔵</p> | <p>著作権保護の観点により、<br/>本作品を掲載いたしません。</p> <p>「印象・日の出」<br/>クロード・モネ作<br/>マルモッタン・モネ美術館蔵</p> | <p>著作権保護の観点により、<br/>本作品を掲載いたしません。</p> <p>Blue Poles [Number 11, 1952]<br/>ジャクソン・ポロック作<br/>National Gallery of Australia蔵</p> |
|---|--|--|

図1

図2

図3

① 図1は、日本の江戸時代を代表する浮世絵師の作品にちなんで、写真を用いて再解釈したジェフ・ウォールによる作品である。作品元となった作者は誰か。解答番号は

- 1 歌川広重                      2 東洲斎写楽                      3 葛飾北斎                      4 喜多川歌麿

② 図1で用いられている「組み立て」という意味のフランス語から名前が由来している、ひとつの画面に2つ以上の映像を重ねたり、合成したりする表現方法はどれか。解答番号は

- 1 モンタージュ                      2 コラージュ                      3 トリミング                      4 デフォルマシオン

③ 図2の作品の作者は誰か。解答番号は

- 1 オーギュスト・ルノワール                      2 エドゥアール・マネ  
3 ウィリアム・ターナー                      4 クロード・モネ

④ 図2の作品名が由来となった芸術運動はどれか。解答番号は

- 1 ロマン主義                      2 印象主義                      3 象徴主義                      4 写実主義

⑤ 図2の作者と同じ芸術運動に属さない芸術家は誰か。解答番号は

- 1 カミーユ・コロー                      2 エドガー・ドガ  
3 アルフレッド・シスレー                      4 メアリー・カサット

⑥ 図3の作者は誰か。解答番号は

- 1 マーク・ロスコ                      2 ウィレム・デ・クーニング  
3 ジャクソン・ポロック                      4 マックス・エルンスト

⑦ 図3で用いられている絵の具を任意にしたたらせるなどして描く表現技法はどれか。

解答番号は

- 1 ドリッピング                      2 マーブリング  
3 フロッタージュ                      4 デカルコマニー

3 次の作品Aに関する(1)～(4)の問いに答えよ。

作品A

著作権保護の観点により、本作品を掲載いたしません。

「リンゴとオレンジ」  
ポール・セザンヌ作  
オルセー美術館蔵

(1) 作品Aの作者名を答えよ。

(2) 以下の文中の①～②にあてはまる語句を、それぞれ下のア～クより選べ。

作品Aは、( ① ) 頃に描かれた作品である。

作品Aの作者は、当初は( ② ) の画家として活動していたが、のちに、独自の様式を発展させ、その対象のとらえ方は20世紀絵画に大きな影響を与えたといわれている。

|          |          |          |          |
|----------|----------|----------|----------|
| ア 18世紀後半 | イ 19世紀前半 | ウ 19世紀後半 | エ 20世紀前半 |
| オ 新古典主義  | カ キュビズム  | キ 印象主義   | ク 写実主義   |

(3) 作品Aの表現の特徴について、下の言葉より5つ選び、これらを用いて40字以内で説明せよ。

遠近法 表現意図 部分 輪郭 写実 強調 単一 複数 視点

(4) 作品Aと同様の作者の作品を、下のア～ウから選び、記号で答えよ。

ア

著作権保護の観点により、  
本作品を掲載いたしません。

「モレの橋」  
アルフレッド・シスレー作  
オルセー美術館蔵

イ

著作権保護の観点により、  
本作品を掲載いたしません。

「アルルのダンスホール」  
フィンセント・ファン・ゴッホ作  
オルセー美術館蔵

ウ

著作権保護の観点により、  
本作品を掲載いたしません。

「サント・ヴィクトワール山」  
ポール・セザンヌ作  
オルセー美術館蔵

4 高等学校学習指導要領（平成21年3月告示）「第2章 第7節 芸術 第2款 各科目 第4 美術 I 2内容」について、「A 表現（3）映像メディア表現」と「B 鑑賞」の関連を図った指導計画を作成する。（1）、（2）の問いに答えよ。ただし、時数は5時間とする。

（1）題材名を次のように設定した。制作のプロセス及び、指導上の留意点にふれて「題材の概要」を記せ。なお、生徒が多様な視点で生活を見つめ、豊かに発想することができるような指導の工夫について必ず記述することとする。

|     |                        |
|-----|------------------------|
| 題材名 | 「私の大切な○○ -自分の生活を見つめて-」 |
|-----|------------------------|

（2）（1）の題材における「題材の目標」及び、評価の4つの観点とそれぞれの評価規準を記せ。

